

第 18 回すばる小委員会議事録

日時：2月24日（金）午後0時より午後4時（JST）

場所：国立天文台三鷹すばる棟2階会議室（ハワイ観測所、京都大学とTV会議接続）

出席者：青木和光、有本信雄、菅井肇、高田昌広、田村元秀、本原顕太郎（以上三鷹）

高見英樹（ハワイ観測所からTV会議接続）

太田耕司（京都大学からTV会議接続、一部退席）

欠席者：秋山正幸、臼田知史、岡本美子、高遠徳尚、中村文隆、松原英雄、吉田道利

書記：吉田千枝

1 UM 準備報告（有本委員長）

UMプログラムを紹介する。今年はサイエンス・セッション中心で、分野を混ぜてセッションを組んでみた。他の人が何をやっているかを互いに知ってもらいたい。

所長補足：AOセッションでは観測所内で検討してきたことをお知らせする。

2 所長報告

2.1 はやぶさ2について

JAXA 上層部との会談で詳しい説明を伺い、はやぶさ2の重要度がわかった。観測実施時期の優先度を明確にした候補天体リストを準備するそうだ。また S12B 期については JAXA から共同利用プロポーザルをすばるに提出するそうだ。

C：すばるにプロポーザルを出した経験のある人が協力しないと難しいだろう。

C：関係者の中にすばる経験者がいるが、内部での情報共有ができていないようだ。

C：なぜすばるが必要なかわからない。

所長：分光はすばるでやるしかないようだ。

2.2 Gemini との MOU について

所長：前回の SAC で内容を検討していただいたので、あとの細部は委員長と詰めるが、

2、3 確認していただきたい点がある。

(1) MOU 案には「互いの装置へのフル・アクセスが可能」との文言が含まれているが、すばるの PI 装置も含めるかどうか？

C：PI 装置は除外してはどうか？

田村委員：PI 装置は観測サポートの都合があるので、アロケーションは自由にできない。

C：日本のユーザーについては「事前に PI にコンタクトする」という条件があるため、ある種の歯止めがかかっている。

菅井委員：日本人の場合相手がどういう人かわかるが、Gemini だと互いを知らないの
で、大変な面がある。

Q：Gemini にも PI 装置があるのか？

所長：Gemini には PI 装置はない。

議論の結果、当面 PI 装置は除外することとした。

(2) MOU 案には「全ての観測モードを提供する」という文言がある。観測モードの定義にもよるが、戦略枠やインテンシブ、サービス観測を含めるのか？

C：「観測モード」というのはクラシカルかキューか、ということだろう。

C：サービスはモードではなくプログラムだ。

検討の結果、戦略枠、インテンシブ、サービスは時間交換の対象外とすることとした。

2.3 KASI（韓国）との会議について

所長：

KASI から 3 名来所し、すばると KASI で連携を進めていくことになった。これまでも共同研究の話は出ていたが、なかなか現実的な進展がなかった。中心になって進める人がいないからであろう。互いに興味を持つ分野を明確にし、分野ごとに責任者を決めて始めることにした。2012 年 11 月に韓国でミニワークショップを企画する。

委員長：韓国側が興味があるのは銀河団と星形成だが、遠方銀河もやってはどうかとこちらから提案した。次回の SAC で具体的なプランを提示したいが、すばるの学校を韓国でやることも考えている。

C：計算機はどうするのか？S-Cam のデータを扱えるマシン環境があるのか？

委員長：まず指導者の育成をしてから、というやり方でもよい。将来的には韓国・台湾・中国・日本で協力していくことになるのではないか？

所長：ALMA と KASI が協力するそうだが、すばるも同様になっていくと思われる。

C：我々のメリットは何か？

委員長：今のところないが、将来すばるも TMT のように国際共同でやっていく時代になるのではないかと。そのためには今から協力体制を進めておいたほうがいい。個人的な意見だが。

3 UM での SAC 報告案の検討

FMOS 戦略枠審査については、これまでの経過を知らないユーザーも理解できるようにまとめることとした。

4 アーカイヴに関する海老沢氏の提言について

委員長：前回海老沢氏から頂いた資料を見ながら、我々に何ができるか考えたい。

青木委員：この資料はデータ専門委員会として、2008 年の外部評価の内容を検討し、そのポイントについて述べたものだ。ネットワーク全体の話なので、人員の増強が必要になる。HSC に関しても提言してきたが、台内で決まった結果を見るとあまり反映されていない。

C：ユーザーを広げていくためにはデータの標準化が必要だ。

C：研究成果をどんどん出していくために何が重要かという観点が必要だ。

C：観測の際にキャリブレーション・データの取得を義務づけるのはどうか？

C：この議論はすばる建設当初から何度も繰り返してきた。X線分野はスペース観測だが、我々の地上観測は天気に大きく左右される。天気がもうすぐ崩れそうな時は誰でも必要最低限のデータを取ってしまいたい。キャリブレーション・データなど取ってられない。

C：現在アーカイブ論文が年に 10 編ほど出ているので、全体の約 1 割に相当する。

C：アーカイブだけが問題になっているが、標準的データ解析ソフトのほうが要望が多い。(委員の同意)

C：キャリブレーションされたデータが公開されたら、圧倒的に論文数が増える。

C：JVO ではやっている。

C：データセンターの中に JVO と SMOKA のチームが別々であって、必ずしも連携していない。

C：すばるの全ての装置についてやるのは難しいが、HSC から始めて、そこから時代が変わるといい。

Q：HSC のパイプラインはプリンストン大学が担当しているのではないかと？

高田委員：皆で協力して進めている。SDSSでも始めはパイプラインの重要性に気づいていなかった。後から気づいてお金をかけて整備した。HSCのチームはデータベースの議論はやっていない。

所長：データベースは共同利用部分だが、そこにどれくらいのリソースを割くかはまだ決まっていない。

C：現在でもSMOKAがある程度実装しているのではないかとデータセンターとの情報交換が必要だ。

C：HSCチームとNAOJ、SMOKAとJVO、SMOKAとすばるの間で互いの思惑が異なっているようだ。

C：それぞれの方向性が違うからだが、どこかで協調していく必要がある。

青木委員：とにかくデータアーカイブのユーザー側の入口を一つにしてほしいと要望しているが、まだ実現していない。

C：JVOはVOの日本の窓口でもあるので、あまり勝手にはできない。

C：データアーカイブについて勉強しないと、よくわからない。

C：SDSSでは非常に優秀なサイエンティストがほぼ専従の形で取り組み、素晴らしいデータアーカイブを構築した。

検討の結果、次回のSACにSDSSのデータアーカイブに詳しい方を招いて解説していただくこととした。

5 SAC提言書の準備 1 アウトリーチに関する素案（青木委員）

青木委員：

アウトリーチという言葉の定義にもさまざまある。かなり現場サイドのことが書いてあるので、大所高所からの意見をいただきたい。すばるに関する広報活動は継続的に行っているが、以前のようなインパクトはなくなっている。最近は動画を活用するなど、新しい工夫も行っている。「きれいな画像がほしい」と要請されるが、広報用の画像処理を担当する人をどうやって確保するか？

C：アマチュアの人にボランティアでやっていただけるのではないかと？

C：会社を作って仕事として行うことも考えられる。

Q：新聞等への年間あたりの掲載数はどうなっているのか？

青木委員：全紙に載ることが以前はあったが、今は2-3社のことが多い。

所長：記者との懇談の場ですばるに関するアピールをすることはあるのか？

青木委員：科学記者へのレクチャーでは昨年12月にHSCを取り上げており、継続的

に行っている。

6 可視赤外装置技術WS 開催報告

秋山委員（欠席）からメールで報告があった。資料としてプログラムを配布し、会の世話人であった本原委員、菅井委員から補足説明があった。

WSは70名（うち企業の方約20名）の参加があつて盛況であり、今後も続けて開催する予定。すばるに限らず工学系の方に多く参加していただいた。

所長：大学でやっている仕事の延長線上で大きなプロジェクトにも関われるというのがよかった。

本原委員：マネジメントは国立天文台ですのでこの仕事をやってください、と言われれば大学でもできる。次回はもっと広く声をかけて開催したい。

7 SAC 改選について

2期で退任となると次回留任の委員は4人しかおらず、SACの継続性が保てないので、数人の委員に留任をお願いすることとした。光天連からの推薦もいつも通りお願いする。TACとの連携という観点から次期はTAC委員1名にSACに加わっていただくが、それまでは柏川委員長に可能な限り出席していただくこととした。

*** 資料 ***

- 1 所長報告
- 2 すばる UM2011 プログラム
- 3 UMでのSAC報告案
- 4 UMで配布予定の年間SACサマリ
- 5 天文データセンター国際外部評価の検討と国立天文台長への提言（2010.3.31付）
- 6 SAC提言の「アウトリーチ」の素案（青木委員）
- 7 可視赤外線観測装置技術WS(2012.2.22-23) プログラム
- 8 第17回すばる小委員会議事録案